

第2分科会：環境整備事業等を活用した工夫事例（魅力あるにぎわい空間の創出を含む）

No.	題名	地方ブロック	水系名 河川名	直轄/補助 (級別)	河川概要				発表者	所属部署		事業の概要	主な関係者
					河川の流域面積	河川分類	整備計画流量	セグメント		機 関	部・事務所		
1	水辺環境と地域の共生に向けて～美々川・ウトナイ湖～	北海道	安平川水系 勇払川（ウトナイ湖）、美々川	補助(2級)	117.7 km ²	中小河川	—	3	きうち しゅう 木内 笙	北海道	室蘭建設管理部苫小牧出張所	美々川自然再生事業におけるウトナイ湖の湿地環境の復元と保全地域との共生	(地域の関係団体) 美々川自然再生技術検討懇談会
2	岩木川魚のすみかの再生と保全	東北	岩木川水系 岩木川	直轄(1級)	2540 km ²	大河川	2500m ³ /s (W=1/40)	2-1	トノサキ マコト 外崎 真	東北地方整備局	青森河川国道事務所	河道の二極化に伴い岩木川を代表するアユやウグイの産卵床が減少していることから、産卵床となりうる浅場の再生を行った整備事例とその効果。	(助言、指導) 岩木川魚がすみやすい川づくり検討委員会
3	神通川自然再生事業における環境DNA調査について	北陸	神通川水系 神通川・井田川	直轄(1級)	2,720km ²	大河川	6,700m ³ /s (W=1/30)	—	いしごき なお 石崎 直	北陸地方整備局	富山河川国道事務所	神通川水系ではザクヤマスを指標種とした自然再生事業を実施している。事業の整備効果を把握するためのモニタリングでは、令和4年度から環境DNA調査を取り入れており、調査では環境DNA濃度のほか、河川の流量を考慮した環境DNA流下量についても評価・検討している。	(地域の関係団体) 富山漁業協同組合 NPO法人神通川を楽しむ会 富山県水産研究所 (調査設計関係者) 株式会社 建設環境研究所 株式会社 建設技術研究所
4	淀川汽水域における干潟再生の取組について	近畿	淀川水系 淀川	直轄(1級)	807km ²	大河川	10,800m ³ /s	3	ソトハマ アユミ 外濱 鮎美	近畿地方整備局	淀川河川事務所	浚渫工事の発生土を利用して、干潟の再生試験を行い、生物の生息場の創出を図る。	(調査設計関係者) 八千代エンジニアリング株式会社
5	神代川河川再生事業について	九州	五ヶ瀬川水系 神代川	補助(1級)	3.1 km ²	中小河川	55m ³ /s (W=1/30)	M	ナガヨシ スミレ 永吉 紫花	宮崎県	西臼杵支庁	・河道を蛇行させ、河床・護岸の自然な川の姿への再生整備 ・安全でかつ河川環境に配慮した景観の創出 ・検討委員会と推進協議会で意見をそれぞれうまく取り入れながら河川再生事業を推進した ・整備後の河川環境調査	(共同研究者) 宮崎大学名誉教授 杉尾 哲教授 NPO法人大淀川流域ネットワーク (設計関係者) 株式会社東京建設コンサルタント (工事関係者) 株式会社竹尾組 (調査関係者) 株式会社東京建設コンサルタント
6	藤塚地区かわまちづくりにおける新たな河川環境の創出について	東北	名取川水系名取川	直轄(1級)	939 km ²	大河川	5200m ³ /s (W=1/70)	3	エンドウ ショリ 速藤 汐梨	東北地方整備局	仙台河川国道事務所	・藤塚地区かわまちづくり事業において、震災後に土砂の流入により地盤が高くなり樹林化したエリアに、湿地環境を創出する取り組み。 ・現況の環境保全に配慮した計画や、湿地環境の創出に向けた計画を検討するために、環境学識者の段階的な立会を設けた。	(関係団体) 藤塚地区かわまちづくり協議会 (調査設計関係者) 株式会社東京建設コンサルタント (工事関係者) 千田建設株式会社
7	肱川かわまちづくりについて	四国	肱川水系 肱川	直轄(1級)	1,210km ²	大河川	6,200m ³ /s	2-1	アキタ ショウタロウ 秋田 祥太郎	四国地方整備局	大洲河川国道事務所	・かつて「かわ」と「まち」をつなぎ肱川の発展を支えた「かわみなど」を主要な整備内容として計画 ・親水護岸と肱川の伝統的な治水施設「ナゲ」を再現 ・施工箇所はイベントにも使用され、賑わいを創出している	(アドバイザー) 愛媛大学 羽鳥剛史教授 愛媛大学 白柳洋俊准教授 (調査設計関係者) 株式会社四電技術コンサルタント 株式会社上條・福島都市設計事務所 (工事関係者) 石岡建設株式会社